

2019 年度音楽学課程 合同ゼミ

2019 年 11 月 27 日

C406

今年も音楽学課程で学ぶ学生たちによる研究発表の場「合同ゼミ」が行われました。音楽学とは、西洋音楽史、日本音楽史、民族音楽学、音楽美学、作曲家研究、作品研究など、音楽に関する学問的研究の総称です。本学では、入学時に音楽学専攻の学生を募集していませんが、2年次に全専攻の3、4年生を対象にした選抜試験を実施し、合格した学生は音楽学課程独自の授業（ゼミナールと個人指導）が受講できるようになります。今年は4つのゼミが開講されました。この日は各ゼミごとに数か月にわたり研究した結果を、プレゼンテーション形式で発表し合いました。西洋のクラシック音楽からアジアや日本の音楽に関わることなど、テーマは多岐にわたりました。

各ゼミの発表後、質疑応答と指導教員からの講評が行われました。音楽学課程での学びは学生たちにとって、普段している演奏とは異なる学問的観点から多角的に音楽にアプローチし、考察をする貴重な機会となっています。



発表タイトル

「ロマン派における3つのピアノ協奏曲」～シューマン・リスト・ブラームスの比較研究～（武石ゼミ）

「ロシア・バレエ」の研究 諸作品の比較を通して（藤田ゼミ）

明治以降の能の変遷（太田ゼミ）

聴衆と演奏会の社会学—西洋とインドネシアを比較して（小日向ゼミ）